

3 台 風

指導のねらい

- 台風によって、どんな災害が起きるのかを理解する。
- 台風に備えて適切な行動がとれるようになる。

■学習指導要領

生活科

第 1 学年及び第 2 学年の内容

〔身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容〕

- (6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫して作ることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

理科

第 3 学年の内容

A 物質・エネルギー

(2) 風とゴムの力の働き

風とゴムの力の働きについて、力と物の動く様子に着目して、それらを比較しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。

(ア) 風の力は、物を動かすことができること。また、風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わること。

特別活動

学級活動の内容

(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害などから身を守り安全に行動すること。

■授業展開例(15分)

時間(分)	学習活動	指導上の留意点	副読本該当項目
0	家庭学習で、p.14~15を読んで、台風からつながる災害を理解し、これらから身を守るためには、どんな行動をとらなければならないのかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ● p.14~15を読んで、台風や台風から派生する災害から身を守るためには、いつ、どんな行動をとるべきか考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● p.17「台風がくる前、きたとき、過ぎた後の行動」
3	1 p.14~15のイラストを見て、本日の学習内容に興味を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ● 台風が接近するときは、暴風だけでなく、ほかにも警戒しなければならない災害が幾つもあることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● p.14-15「台風」
3	2 台風が近づいてきたときに、どんな備えをすべきか理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ● p.16「とばされやすいものをかたづけよう！」のイラストを見ながら、家庭でできる備えを理解させる。 ● 学校でも同様で、飛ばされやすいものを片付けたり、固定したりすることが重要だと理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● p.16「とばされやすいものをかたづけよう！」
6	3 「台風から身を守るためには、どんな行動をとらなければならないのか」について発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 台風が来るとき、どの段階で、何をすべきか発表させる。 ● 説明をする際は、児童の意見を取り入れながら行う。 例：「〇〇さんの意見のように～…」「〇〇さんの意見も正しい。さらにこうすると、もっと安全」など。 	<ul style="list-style-type: none"> ● p.17「台風がくる前、きたとき、過ぎた後の行動」
3	4 本学習を振り返る。		



3 たいふう 台風
 たいふうとお まえ、あと、
 台風が通りすぎる前と後で、
 まわりの様子がかわっちゃうよ。

台風は、うずをまいた大きな風のかたまりみたいなものなんじゃ。

A
B
C
D
E
F



雨も風もすごいきおいね!

台風がきたときの
 様子を動画で
 見てみよう



こんなきけんがあるよ!



平成30年(2018年)台風21号



(画像提供: 西日本新聞me)

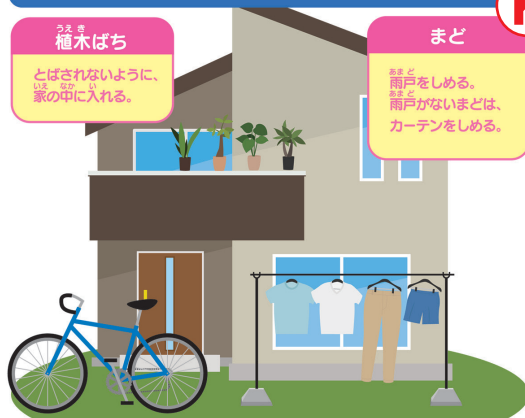
たいふう 台風から
 身を守るためには

天気予ほうを見ると、いつ台風が近づかわかります。
 台風が来る前にじゅんびしておく、命を守ることができます。

とばされやすいものをかたづけよう!

うえき 植木ばち
 とばされないように、
 家の中に入れる。

まど
 雨戸をしめる。
 雨戸がないまどは、
 カーテンをしめる。



じてんしゃ 自転車
 家の中に入れる。家の中に入らない
 ときは、とばされないようにロープで
 むすんだり、たおしておく。

ものほしざお
 とばされないように、
 家の中に入れるか、
 下におろしておく。

たいふう 台風がくる前、きたとき、過ぎた後の行動

台風がくる前から「台風がくる前、台風がくるとわかったとき、台風がきたとき、台風が過ぎた後にどうするか、ひなん所ではどうするか」を知っておきましょう。

- 1 台風がくる前**
 - 家のまわりにある、とばされやすいものをかたづける。
 - ひなんグッズをじゅんびする。
 - ひなん所までのいき方をかくにんする。
- 2 台風が近づいてきたとき**
 - ひなん所へいくか家族と相談し、早自にひなんする。
 - ラジオやインターネットなどで、正しいじょうほうをかくにんする。
 - 3日分の飲りょう水とそのまま食べられる食べ物をじゅんびする。
- 3 台風がきているとき**
 - 外へ出ないようにする。
 - 雨や風が強いときは、むりにひなん所へいかず、家の中に水が入ってきそうなときは上の階など高い場所へひなんする。
- 4 台風が過ぎた後**
 - がけや川などに近づかない。

ひなん所にひなんしたとき

- ひなん所のルールを守って過ごす。
- マスクや手洗いをする。

■補足説明

④台風とは

台風は、赤道に近い熱帯の海で生まれます。海水の温度が高いため、雲のもとになる水蒸気が多く発生します。水蒸気が集まって雲ができ、さらに雲同士が集まり、渦巻き状の雲のかたまりになります。そして、雲の周りの風の速さが17.2m/sを超えると「台風」と呼ばれます。17.2m/s未満のときは「熱帯低気圧」と呼ばれます。17.2m/sは時速にすると約60km/h、つまり、自動車が一般道を走るスピードとおおよそ同じです。

熱帯低気圧と似た言葉で「温帯低気圧」というものがあります。温帯低気圧は、冷たい空

気と温かい空気がぶつかり合うことで、空気が渦を巻いてできる低気圧のことです。台風の勢力が弱まって熱帯低気圧になることもあれば、上空の冷たい空気が入ってきて、温帯低気圧に変わることもあります。

台風が温帯低気圧に変わった場合、風速が17.2m/sを超えても台風とは呼びません。また、冷たい空気と温かい空気がぶつかって、雨を降らせる前線ができるので、温帯低気圧に変わった場合でも雨や風に注意する必要があります。

⑤台風の日

台風は中心に近いところほど、多くの雨が降り、強い風が吹きます。しかし、中心部分は「台風の日」と呼ばれ、雲がほとんどないため、雨はあまり降らず、風も弱まります。

⑥風は進行方向の右側の方が強い

台風は反時計回りに渦を巻いています。進行方向の右側は、進行方向に向かって風が吹きます。左側では進行方向とは逆に風が吹くため、右側に比べて、風の力がやや弱くなります。

⑦台風を表す2つの円

内側の円を暴風域、外側の円を強風域と呼びます。暴風域は平均風速が25m/s以上ある領域を指します。時速にすると約90km/h。おおよそ自動車が高速道路を走るスピードと同じです。

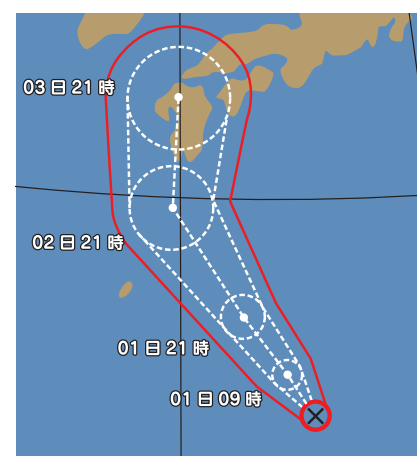
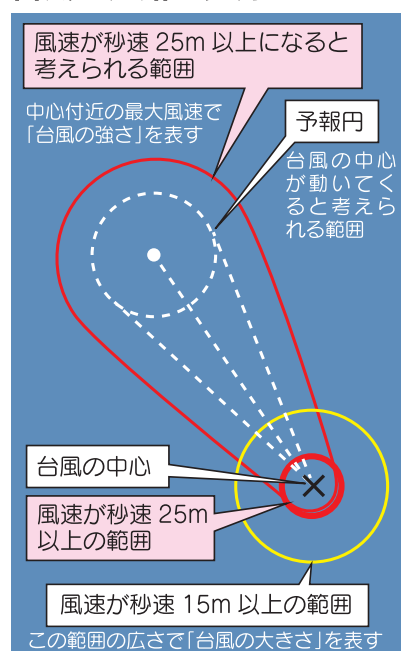
⑧台風で断水が起きる原因

図の災害以外に断水が起きることがあります。水を供給する取水施設が被害を受ける、停電で浄水処理場が止まる、水道管が破裂するなどが原因で断水になります。

⑨予報円

台風の日が予報時刻に到達すると予想される範囲を円で表したものです。予報円は、台風の日を大きさで示すものではありません。

台風の進路の見方



㊸水があふれる原因

台風のとときに水があふれる原因は2つあります。1つ目は大雨による洪水です。大雨で増水し、川の水があふれてしまいます。2つ目は高潮です。海面は気圧によって抑えられていますが、台風を中心部分は周りよりも気圧が低いため、海面を抑える力が弱くなり、海面が持ち上げられます。それに伴い、海面の水位が高くなります。これを「吸い上げ効果」と言います。また、強風により波が発生し、陸地に襲いかかります。これを「吹き寄せ効果」と言います。この2つの効果が高潮です。

㊹台風時は海に近づかない

海は潮の満ち引きがあるので、1日の中で潮位が変化します。満潮時に台風の接近が重なると、高潮の被害が起きる可能性が高くなります。しかし、干潮時が安心というわけではありません。平成10年台風第10号では、台風が最接近した干潮直後の方が、満潮時より潮位が高くなりました。台風接近時は、満潮や干潮に関係なく、海に近づかないように理解させることが必要です。

①窓ガラスが割れる実験動画

普段ガラスを割ることのできない傘やスリッパなどでも、風速50m/sで飛ばされると窓ガラスを割ることがあります。

※29ページ㊸のURLをご参照ください。

板書例

めあて

台風が近づいてきたときに
どうしたらいいか考えよう。



ほかにできること

- ・てい電したときのために、かいちゅう電とうや、すぐ食べられるパンや水を買っておく。
- ・土のうをドアの前におく。
→水が入ってこない。
- ・台風が近づいてきたら、外に出ない。
- ・海に近づかない。

㊺QRコード

タブレットなどでQRコードを読み込むことで「たいふうのどうが」のリンクから、災害の動画を閲覧することができます。動画を見て気分が悪くなった場合は、先生に知らせるよう注意喚起をしましょう。

動画時間：1分49秒 出典元：NHK for School

㊻台風への対応

マンションなど、最近では雨戸やシャッターのない家も多くあります。その場合は、以下の対応をするとよいと指導しましょう。

- 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る
- 窓ガラスに段ボールを貼り付ける
- カーテンを閉める
- 窓に近づかない

㊼教職員がとるべき行動例

- 台風の進路予想が福岡県に近づくようなものだった場合、数日前から備えをするように促しましょう。
- 外に置いている植木鉢など、風で飛ばされそうなものを校舎内に入れましょう。
- 校舎内に移動するのが難しいものについては、重しやロープで固定しましょう。

4 土しゃ災害

指導のねらい

- 土砂災害の前ぶれを理解し、普段と違う変化に気づき、早めの避難ができるようになる。
- 土砂災害の恐れのある地域をハザードマップで調べることができることを理解する。
- 安全な場所へ避難することができない場合、垂直避難ができるようになる。

■学習指導要領

生活科

第1学年及び第2学年の内容

〔身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容〕

- (6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫して作ることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

特別活動

学級活動の内容

- (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害などから身を
守り安全に行動すること。

■授業展開例(15分)

時間(分)	学習活動	指導上の留意点	副読本該当項目
0	家庭学習で、p.18～19を読んで、土砂災害の種類や前ぶれを理解し、土砂災害から身を守るためには、どんな行動をとらなければならないのかを考え、まとめておく。	<ul style="list-style-type: none"> ●QRコードから動画を見せる。 ●p.18～19を読んで、土砂災害から身を守るために、どんな行動をとるべきか考えさせ、まとめておくように、事前にワークシートを提示しておく。 	●p.18-19「土しゃ災害」
3	1 p.18～19のイラストを見て、本日の学習内容に興味を持つ。	●大雨や台風が来ると、土砂災害が起きやすくなることを理解させる。	●p.18-19「土しゃ災害」
9	2 土砂災害が起きたとき、どんな行動をとるべきか、考えてきたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ●発表後、副読本を見ながら説明をする。 ●説明をする際は、児童の意見を取り入れながら行う。 例:「〇〇さんの意見のように～…」「〇〇さんの意見も正しい。さらにこうすると、もっと安全」など。 	●p.20「土しゃ災害から身を守るためには」
3	3 本学習を振り返る。		

■補足説明

㊤土砂災害の発生件数

令和2年に全国で発生した土砂災害は1,319件でした。過去の発生件数を見てみると、豪雨や大地震が起きた年は特に発生件数が増えています。

令和3年は、8月31日時点で848件の土砂災害が発生しています。特に静岡県熱海市では2kmにわたる大規模な土石流が発生しました。

※29ページ⑦のURLをご参照ください。

㊦土砂災害の映像

※29ページ⑧のURLをご参照ください。

㊧QRコード

タブレットなどでQRコードを読み込むことで「どしゃさいがいのどうが」のリンクから、動画を閲覧することができます。動画を見て気分が悪くなった場合は、先生に知らせるよう注意喚起をしましょう。

動画時間:10分00秒 出典元:NHK for School

㊨土砂災害の前ぶれ

土砂災害の種類によって、さまざまな前ぶれが起こります。以下のような前ぶれがあります。記載がないことでも、普段とは違う異変を感じたら、すぐに避難することを強調しましょう。



4 ど さいがい 土しや災害

おおあめ 大雨がふった次の日、がけがくずれ落ちたよ。 どうしてだろう？



山やかげのような所に大雨がふると、地面がやわらかくなって、くずれたり、すべりやすくなるんだね。

山の土や石が、大雨の水と一緒によれ落ちてくることもあるんじや。

A B

ど さいがい 土しや災害のしるし



雨がしみこんで、地面がやわらかくなり、がけがくずれしてしまうことです。



雨がしみこんで、やわらかくなった地面が、天きなかつたまま、すべり落ちるということです。



山やきの土やめ、石が長くくった雨と一緒によれ落ちてくることです。

れいわ ねん ねん しずおかけんあた み し ど さいがい 令和3年(2021年)静岡県熱海市の土しや災害



(画像提供: 毎日新聞社/アフロ)



C

ど さいがい 土しや災害から 身を守るためには

土しや災害がいつおきるのか、わかる方法ってあるのかな？

ど さいがい まえ 土しや災害の前ぶれ

D

土しや災害がおきる前、いつもとはちがうことがおきる場合があります。たとえば…



●地面から水がふき出す。



●地面にひびが入る。

ここに書いていない前ぶれがおきることもあるよ。



はやめ 早目にひなんしよう

外をよくかんさつして、きけんを感じたらすぐにひなんしましょう。

あめ 雨がやんだ後も注意

雨がやんだ後も土の中に水分がふくまれているため、土しや災害のきけんはまだあります。



ど さいがい 土しや災害できけんなこと

ど さいがい 土しや災害でどんなきけんなことがおきるでしょうか。石のイラストをみながら考えてみましょう。



F

G

H

- がけにひびが入る。
- 小石が落ちてくる。
- 建物や電柱、木が傾く。
- 地鳴り、山鳴りがする。
- 井戸や沢の水が濁る。
- 石のぶつかり合う音が聞こえる。
- どろくさいにおいがする。

※29ページ㉑のURLをご参照ください。

㉑台風と土砂災害

平成3年台風第17号と第19号の際、八女郡星野村(現、八女市星野村)や浮羽郡田主丸町(現、久留米市田主丸町)などで猛烈な暴風により、県内各地の山林で木が根本から倒れたり、途中から折れたりして、甚大な森林被害が出ました。このような森林被害が起こると、倒木が土砂などとともに押し流され、土石流の危険性がさらに増すことが考えられます。

㉒ハザードマップ

ハザードマップは各市町村のホームページに掲載されています(「〇〇〇(市町村名)ハザードマップ」で検索)。また、「重ねるハザードマップ」では、洪水、土砂災害、津波、道路防災情報を調べることができます。

※29ページ㉑のURLをご参照ください。


板書例

めあて


土砂災害がおきそうなときに どうしたらいいか考えよう。

土砂災害から身を守るためには

土砂災害がいつおきるかわからない。土砂災害の前ぶれを知り、土砂災害の前ぶれを知ることが大切です。たとえば-



●斜面から土砂が落ちる。



●斜面に物が落ちる。

ここに書いていい
自分の考えをここに書こう。

目をひらなれよう

雨が多くなると、斜面がゆるみやすくなり、土砂災害の前ぶれがあらわれます。

雨がやんだ後も注意

雨がやんだ後も、斜面がゆるんでいる可能性があります。

土砂災害で逃げなれよう

土砂災害で逃げなれよう。土砂災害の前ぶれを知り、土砂災害の前ぶれを知ることが大切です。

- ・雨がふったときや、台風が来たときは、土砂災害がおきるかもしれない考える。
→雨や台風の後には、晴れても気をつける。
- ・土砂災害の前ぶれを知る。
→いつもとちがうことに気づいたら早目にひなんする。

㉓土砂災害警戒区域の概要

「土砂災害警戒区域(イエローゾーン)」とは、土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生じる恐れがあると認められるエリアです。過去の土砂災害による土砂の到達範囲などを勘案して設定されています。ハザードマップで色が付いていない場所については、あくまで過去の土砂災害で土砂が到達しなかっただけで、今後も到達しないとは限りません。色が付いていない地域でも、100%安全であるわけではないことを強調しましょう。

土砂災害警戒区域の中でも、建築物に損害が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じる恐れがあると認められるエリアのことを「土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)」と言います。

㉔教職員がとるべき行動例

- 大雨や台風の後には、土砂災害の恐れがある場所には近づかないように特に厳しく注意しましょう。
- 小学校が土砂災害の恐れがある地域にある場合や、災害発生時の危険性がある場合は、児童たちを速やかに斜面から離れた上階の部屋に避難させましょう。

5 生きるために考えよう

指導のねらい

- 学校内にある防災設備の役割を理解する。
- 避難所での過ごし方を理解し、新型コロナウイルスなどの感染症対策に努めることができるようになる。
- ワークを通して、災害に備えることができるようになる。

■学習指導要領

生活科

第1学年及び第2学年の内容

〔学校、家庭及び地域の生活に関する内容〕

- (1) 学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする。
- (2) 家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えることができ、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとする。
- (3) 地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着を持ち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。

社会科

第3学年の内容

- (3) 地域の安全を守る働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。
 - ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
 - (イ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること。
 - イ 次のような思考力、判断力、表現力などを身に付けること。
 - (ア) 施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動をとらえ、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現すること。

特別活動

学級活動の内容

- (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
 - ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害などから身を守り安全に行動すること。

■授業展開例(15分)

時間(分)	学習活動	指導上の留意点	副読本該当項目
0	家庭学習で、「ひなんするとき気をつけること」「もしものときに持っていくもの」「ひなん所までの地図を書いてみよう」「ひなんするときのルールをきめよう」「めざせ！防災はかせ」を考えたり調べたりして、まとめる。	●家庭学習で、「ひなんするとき気をつけること」「もしものときに持っていくもの」「ひなん所までの地図を書いてみよう」「ひなんするときのルールをきめよう」「めざせ！防災はかせ」をまとめさせておく。	●p.23「ひなんするとき気をつけること」 ●p.25「もしものときに持っていくもの」 ●p.26「ひなん所までの地図を書いてみよう」 ●p.27「ひなんするときのルールをきめよう」 ●p.29「めざせ！防災はかせ」
2	1 これまでの学習を振り返り、本日の学習課題を把握する。	●どんな災害のときに、どんなことに気を付けなければならなかったのか、と発問する。	
10			
3	2 本学習を振り返る。		

※赤枠の中は下記選択A～Dよりお選びください。

選択A【「けいかいレベル4で、みんなひなん」「ひなんするとき気をつけること」】

5	2 副読本を読み、警戒レベルを確認する。	●警戒レベル4になるまでは避難しなくて良いという意味ではなく、危険を感じたら、警戒レベル4になっていなくても、避難することの重要性を理解させる。 ●警戒レベル5は既に災害が発生しているので、もし避難所へ行くことができなかった場合は、無理に避難所へ行くのではなく、垂直避難するなど、命を守るための最善の行動をとることを理解させる。	●p.22「けいかいレベル4で、みんなひなん」
5	3 副読本を読み、避難時の注意点を確認する。	●注意を守らなければどのような危険があるか、意見を出し発表させる。	●p.23「ひなんするとき気をつけること」

選択B【「ひなん所にいったとき気をつけること」「もしものときに持っていくもの」】

5	2 副読本を読んで、避難所での過ごし方について理解する。なぜルールを守らなければならないのか発表する。	●取り上げているルールについて、なぜそうしなければならないのか発表させる。	●p.24「ひなん所にいったとき気をつけること」
---	---	---------------------------------------	--------------------------

5	3 家庭学習で取り組んできた「もしものときに持っていくもの」についてグループで説明し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ●自宅で各自、持出品をリュックにまとめて、持って来てもらう。 ●家庭や個人によって準備する物は変わってくるので、持ち出す物が違ってもおかしくないことを強調する。 	●p.25「もしものときに持っていくもの」
---	---	---	-----------------------

選択C【「ひなん所までの地図を書いてみよう」「ひなんするときのルールをきめよう」】

5	2 家庭学習で取り組んできた「ひなん所までの地図を書いてみよう」について、地図を書いてみた感想について発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ●手が拳がらないときは、「おうちの人と、どんな話をしましたか?」「ひなん所に行くまでに、あぶないなと思った道はありましたか?」などの声掛けをして発言を促す。 	●p.26「ひなん所までの地図を書いてみよう」
5	3 家庭学習で取り組んできた「ひなんするときのルールをきめよう」についてグループで説明し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ●家族とどんな話をし、なぜこのルールに決めたかについて説明させる。 ●ルールは家庭によって異なるので、全てが正解であることを強調する。 	●p.27「ひなんするときのルールをきめよう」

選択D【「防災くん練にさんかしよう」「風水害について思ったこと」「めざせ! 防災はかせ」】

2	2 地域の防災訓練に参加するメリットについて理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の防災訓練は回覧板などでお知らせがあるので、保護者に確認するように促す。 ●地域の防災訓練は強制参加するものではないが、以下のようなメリットがあることを伝える。 ●避難の練習ができるので、非常時にどんな行動をとればいいのか分かる。 ●地域の人と顔見知りになるので、非常時に助けに来てもらえることがある。 ●地域の人と顔見知りになるので、非常時に誰に頼ればいいのか分かる。 	●p.26「ひなん所までの地図を書いてみよう」
5	3 家庭学習で取り組んできた「めざせ! 防災はかせ」の正解を確認し、非常時の行動について再確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ●クイズに正解できたで終わりにせず、非常時に行動ができてこそ意味があることを強調する。 	
3	4 本学習で学んだことをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ●時間があれば、発表させる。 	●p.28「風水害について思ったこと」

6 生きるために考えよう

ひなんするときにつけることを勉強しましょう！

けいかいレベル4で、みんなひなん

下の表は、災害のきけんレベルと、そのときにどんな行動をとればいいのかをあらわしています。災害がおきそうなときには、けいかいレベルによってそれぞれのけいほうが出ます。

けいかいレベル	どんな行動をとればいいのか？	けいほうなどのしゅりい
5 いひひ 命を守って！	あぶない状況です。すぐに命を守る行動をしましょう。	大雨とくべつけいほう
4 みんなひなん しましょう	あぶない場所にいる人は、全員ひなんしましょう。	土しゃ災害けいかいじょうほう
3 お年よりなどがひなんします	あぶない場所にいるお年よりや小さな子ども、体が不自由な人などは、ひなんしましょう。	大雨けいほう
2	おうちの人といっしょにひなん所へのいきかたやあぶない場所を確認しましょう。	大雨注意ほう
1	ひなんグッズをじゅんびしたり、おうちの人と食べものや水を置いいたりしましょう。	

あぶない場所は、市町村が作っているハザードマップでわかるぞ。

22

ひなんするときにつけること



風水害がおきてひなんするとき、このようにことに気をつけるんじや。

●まだ雨がよわいうちにひなんしましょう。



●うごきやすい服をきて、ひなんしましょう。

もちもの

ひつような物だけをリュックなどに入れて持っていきましょう。いざというときにきけんを知らせるため、ホイッスルなどを持っておきましょう。

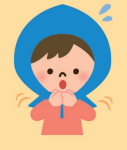
くつ

はきなれたくつをはきましょう。履くつは、水が入ると動きにくくなるのでさけましょう。

ぼうしやヘルメット

頭を守るためにぼうしやヘルメットなどをかぶりましょう。

できるだけ両手に物を持たないようにしてひなんしましょう。



●水がひざの高さより上にあるときはきけません。安全な場所できゅうじょうを待ちましょう。



●なるべく大人の人といっしょにひなんしましょう。



●車や自転車を使わずにひなんしよう。



●夜にひなんするのはきけません。たてもの中の高い場所での身の安全を守りましょう。



23

ひなん所に行ったときにつけること



令和3年8月佐賀市 (画像提供: 佐賀新聞)



ひなん所に行ったときは、おたがいにゆずりあい、助け合って生活するんじや。新型コロナウイルスなどの感染症がはやっているときは、かかたり、うつしたりしないように気をつけるのじや。



しずかに過ごしましょう。



マスクをつけておきましょう。



人にあいさつしましょう。



ほかの人とはできるだけはなれましょう。

24

もしものときに持っていくもの

あなたのおうちでは、もしものときにどんなものをひなん所に持っていきますか？おうちのの人に聞いて、じゅんびするものに○をつけよう。



きちんと災害にそなえているかな？おうちのひとと話し合ってみよう。

じゅんびするもの(例)	○をつけよう
①マスク	
②かい中電とうやヘッドライト	
③きゅうきゅうセット	
④けいたいらジコ	
⑤ティッシュペーパー	
⑥ヘルメット	
⑦体温計	
⑧ぐん手	
⑨じょさんウエットティッシュ	
⑩歯ブラシ	
⑪タオル	
⑫ビニールぶくろ	
⑬けいたいトイレ	
⑭そのまま食べられる物(かんづめ、カンパンなど)	
⑮飲りょう水	
⑯雨具、ぼうき傘	
⑰ホイッスル	

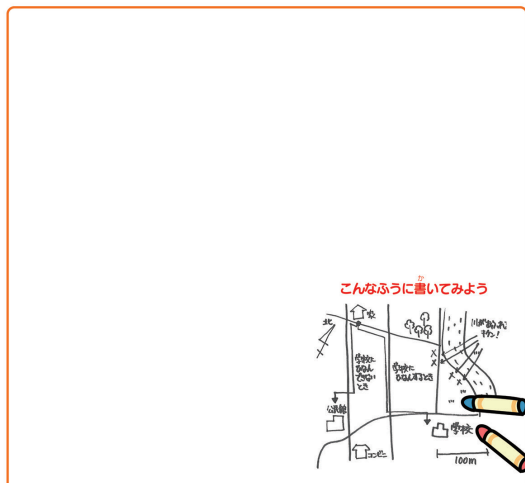
※両手が使えるようにリュックに入れて、じゅんびしよう。
※ひなんするときめれないように、ビニールぶくろに入れるなどの工夫をしましょう。
※このページはコピーをして使しましょう。

25

ひなん所までの地図を書いてみよう



- 学校からあなたの家までの帰り道をかいたり、地図をはったりしよう。
- ひなん所を地図に書いてみよう。
- おうちの人といっしょに歩いて、ひなん所までのいき方を書いてみよう。



こんなふうを書いてみよう



書いた後はおうちの人にたくにんしてもらおう。

地図を書いたり、歩いたりしてみて、気づいたことや思ったことを書いてみましょう。

26

※このページはコピーをして使しましょう。

ひなんするときのルールをきめよう

おうちの人と「いつ」「どこへ」「だれと」ひなんをするか話し合ってルールをきめましょう。近くにいらないときのれんらく方法や、まちなせ場所も話し合ひましょう。

● いつ？

なにが どうした
 が とき
 見本：「たいふう」が、「きた」とき / 「○○けいほう」が、「でた」とき

● どこへ？

- 家から一番近いひなん場所はどこですか？
- ①にいくのがあぶないときは、どこにいきますか？
- ②外に出るのがあぶないときは、家の中のどこが安全ですか？

● だれと？

- だれとひなんしますか？
- ①に書いた人がいないときは、どうしますか？

● おうちの人とのれんらく

- どうやってれんらくをとりますか？
○をつけましょう。
- れんらくがとれないとき、
どこでまちあわせしますか？

電話 ライン その他

見本：○○小学校の入り口

※このページはコピーをして使しましょう。

27

ぼうさい 防災くん線にさんかしよう

日ごろからちいさな防災くん線にさんかして災害にそなえましょう。



ぼうさい 防災くん線で身の守り方などを教えてもらおう。



ふうすいがい 風水害について思ったこと

この本をよんで思ったことや考えたことを書きましょう。

28

※このページはコピーをして使しましょう。

めざせ！ ぼうさい 防災はかせ

この本で勉強したことのまとめクイズです。いくつわかるかな？



下の文章で、正しければ○、まちがっていたら×をつけましょう。

- | | | |
|-----|--|-----|
| Q1 | 風水害がおこる前に、ひなんグッズをじゅんぴししておく。 | ○ × |
| Q2 | せきらん雲が近づいてきたときは、集中ごう雨がおきるかもしれないので、できるだけ外に出ない。 | ○ × |
| Q3 | 集中ごう雨がおきているとき、長くつをはいていれば水がたぐさんたまっている場所を歩いてもよい。 | ○ × |
| Q4 | かみながなってきたら、大きな木の下にげこむのがよい。 | ○ × |
| Q5 | 台風がくる前に、家のまわりにある、とばされやすいものをかたづける。 | ○ × |
| Q6 | 台風が来たが、雨や風が強かったので、わりにひなん所へ行かなかつた。 | ○ × |
| Q7 | 「おお雨けいほう」が出たので、お年よりにひなんしようを伝えた。 | ○ × |
| Q8 | ひなんするとき、歩くより早いので自転車でひなんした。 | ○ × |
| Q9 | ひなん所ではまわりが知らないばかりなので、あいさつなどしなくてよい。 | ○ × |
| Q10 | 雨がやんだ後でも、土しゃ災害のきけんがあるためがけなどには近づかないほうがよい。 | ○ × |

クイズのこたえ Q1:○, Q2:○, Q3:×, Q4:×, Q5:○, Q6:○, Q7:○, Q8:×, Q9:×, Q10:○

※このページはコピーをして使しましょう。

29

補足説明

④車や自転車を使わずに避難する理由

避難をする際はなるべく車や自転車を使用しない方がよいと言われています。その理由は、以下の通りです。

- 多くの避難者が車を使用した場合、渋滞や交通事故が発生する恐れが高いため。また、徒歩で避難する人たちを妨害する恐れがあるため。
- 車が水没した場合、避難ができなくなるため。
- 自転車での避難については、浸水時や強風時に転倒しやすくなるため。

⑤体調不良者などがいるスペースには入ってはいけない

避難所では、発熱や咳などの症状がある避難者と一般の避難者とはスペースが分けられ、接触しないようになっています。そのルールを守らず、体調不良の避難者がいるスペースに入ってしまうと、体調不良者に迷惑をかけるとともに、感染してしまう可能性があります。体調不良者などがいるスペースには入らないようにしましょう。

また避難所では児童一人で行動するのは避けるようにし、できるだけ大人や複数人数で行動するようにしましょう。

※スペースが分けられているのは、感染拡大を防止するための対策です。体調不良者やその家族をひぼう中傷することや差別することは絶対にやめましょう。

⑥避難所での感染防止対策

マスクの着用や、ソーシャルディスタンスをとること以外に、以下のような感染防止対策に努めましょう。

- 避難所に入る前に検温をしましょう。また、避難所生活が長引く際は、毎日検温して自分の体調をチェックしましょう。
- 咳や強いだるさを感じる場合は、隠さずに、家族や避難所のスタッフに伝えましょう。
- 家族と過ごすときも、なるべく向かい合わないようし、寝るときは頭を互い違いにするなど、咳やくしゃみなどによる飛沫(ひまつ)感染の防止に努めましょう。

⑦他に必要なものがないか確認しよう

イラストはあくまで一例です。人によってそれぞれ必要な物は異なります。状況に応じて必要なものがないか考えさせましょう。

持病やアレルギーのある児童たちは、普段飲んでいる薬を忘れないように指導しましょう。

⑧避難所に行くことだけが避難ではない

避難とは「難を避ける(なんをさける)」ということですが。

近年の災害では、避難所に行く途中で命を落とすという例も報告されています。

危険な状況での避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えましょう。危険が切迫している場合は、指定された避難場所などへの移動だけでなく、近隣の安全な建物などへの避難や、屋内のより安全な場所への移動が必要な場合もあります。

⑨めざせ！防災はかせ

- ①○：風水害は来ることが事前に予想できます。避難グッズや食糧・飲料水を準備しておきましょう。
- ②○：集中豪雨が降りそうなときは、家から外に出ないことが最も簡単な対策です。
- ③×：長靴は中に水が入り、歩けなくなることがあるので、履き慣れた運動靴にしましょう。
- ④×：逆です。雷が鳴ったら大きな木や電信柱から遠ざかること、できるだけ早く頑丈な建物に逃げ込むことが大事です。
- ⑤○：家の周囲にある飛ばされやすいもの(植木鉢、自転車など)は、台風が来る前に片付けたり、固定した方がよいでしょう。
- ⑥○：避難所へ行くならば、雨が強くなる前に移動すべきです。風や雨が強くなってからでは、無理に避難所へ行かない方がよいでしょう。
- ⑦○：警戒レベル3では「危険な場所から高齢者等は避難」です。
- ⑧×：風水害が起きて避難するとき、雨や風など自転車を運転するうえで危険な要素が多くあります。大人が運転する車で避難することも、やめた方がよいでしょう。
- ⑨×：避難所にはいろいろな人がいます。あいさつをしてみんなで気持ちよく過ごしましょう。
- ⑩○：集中豪雨の後では、まだ地面の中に水がたまっており、土砂災害の危険があります。

◎災害用伝言ダイヤル171

災害用伝言ダイヤル171は、非常時のみに設置される番号ですが、体験利用日に体験することができます。授業内で実際に体験してみるのもよいでしょう。

【体験利用日】

- 毎月1日、15日
- 1月1日～3日
- 防災週間(8月30日9時～9月5日17時)
- 防災とボランティア週間(1月15日9時～1月21日17時)

【条件】

- 伝言録音時間:30秒
- 伝言保存期間:体験利用期間
- 伝言蓄積数:20伝言

※29ページ⑩のURLをご参照ください。

Ⓜ公衆電話の使い方

災害用伝言ダイヤル171は、公衆電話でも利用することができます。しかし、2017年にNTT東日本が行った調査では、公衆電話を使った経験のない小学生が約85%以上にのぼることが分かりました。NTT東日本のホームページで公衆電話の使い方をイラストや動画で分かりやすく説明しています。

※29ページ⑫のURLをご参照ください。

板書例

めあて

災害がおきてもあせらないように、今できるじゅんぴをしよう。

気づいたこと、思ったこと

- ・おじいちゃん、おばあちゃんが家にいるから、けいかいレベル3でひな人を始める。
- ★長ぐつでひなん所へ行かない！
→長ぐつの中に水が入ると、うんどうぐつより、歩きにくくなるから。
- ・子ども会であつまる公みんかんは、ひなん所になることもある。

※29ページ⑬のURL(農林水産省の家庭備蓄についての動画)、⑭のURL(福岡県防災ホームページ:避難所を探す)も授業にご活用ください。

参考用ウェブサイト

①

※内閣府防災情報のページ:
<http://www.bousai.go.jp/updates/index.html>



⑨

※政府広報オンライン:
土砂災害から身を守る3つのポイント
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201106/2.html>



②

※陸上自衛隊「災害派遣の仕組み」:
<https://www.mod.go.jp/gsd/abou/dro/>



⑩

※重ねるハザードマップ:
<https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=35.371135,138.735352&z=5&base=pale&vs=c1j0l0u0>



③

※内閣府防災情報ページ:
人工的な大雨の実験映像
<http://www.bousai.go.jp/oukyu/taisaku/jikken/index.html>



⑪

※NTT西日本ホームページ:
災害伝言ダイヤルの利用方法
<https://www.ntt-west.co.jp/denwon/way/>



④

※気象庁ホームページ:
竜巻の年別発生件数
<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/tornado/stats/annually.html>



⑫

※NTT東日本ホームページ:
公衆電話の使い方(子ども向け)
<https://www.ntt-east.co.jp/ptd/kousyukids/learn/learn01.html>



⑤

※落雷の実験動画:
<https://www.youtube.com/watch?v=mxfrcogCmM>



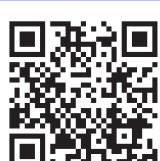
⑬

※農林水産省 家庭備蓄についての動画:
<https://www.youtube.com/watch?v=5V5h-SPRcns>



⑥

※実験映像:
もし台風風の風でカサが突き刺さったら?
<https://www.youtube.com/watch?v=iTzWmkr1TSO>



⑭

※福岡県防災ホームページ:避難所を探す
<https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/shelter/>



⑦

※国土交通省砂防部:
平成30年に発生した土砂災害
<https://www.mlit.go.jp/common/001282246.pdf>



国土交通省防災教育ポータルサイト

防災教育に役立つ75のホームページを収録し、防災教育に取り組む先生方が教育素材を簡単に入手できるポータルサイトです。

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>



⑧

※土砂災害防止広報センター:
実際の土砂災害の映像など
http://www.sabopc.or.jp/sozai/sozai_category/movie_cate/



指導に役立つウェブサイト

一般社団法人防災教育普及協会

学校での防災教育に活用されている防災教育教材・防災ゲーム等が紹介されています。

<https://www.bousai-edu.jp/info/kyouzai-list/>



国土交通省防災教育ポータルサイト

防災教育に役立つホームページを収録し、防災教育に取り組む先生方が教育素材を簡単に入手できるポータルサイトです。

<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>



編集／発行



福岡県 (総務部 防災危機管理局 防災企画課)

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7 TEL(092)643-3112
FAX(092)643-3117